

滿洲に於ける中國共產黨と共產匪

(昭和十二年五月岡山地方裁判所  
檢事岡本吾市報告)

# はしがき

一、本資料は昭和十二年度に於て、思想情勢視察の爲哈爾濱に出張を命ぜられたる各検事の視察報告中、主として滿洲國に於ける共產主義運動の狀況に關するものを収録したるものにして、其の情勢は同年下半期に及び、最近に於ける同地方該運動調査の參考たるものと思料し茲に登載す。

昭和十三年五月

## 刑事局第五課

に次ぎ昭和九年十二月十一日廣州暴動記念日當日をとし通化中心縣委の成立を見る等黨及軍の活動愈其勢力侮り難きものあり。

## 二、特色

蘇聯及中國共產黨の指令下に東三省失地回復と其後に於ける共產國家の實現を企圖せる武装團體にして思想を抱持し帝國主義打倒反滿抗日の偉大なる潜在力を有す。

### ○ 東北抗日聯合軍綱領

イ、賣國することなく投降することなく最後迄日帝及滿洲國と闘ふべし

ロ、民衆の利益を保護し民衆に反日の爲の自由と言論出版集會結社竝破壊行爲の自由を許すべし

ハ、反日民衆の武装を承認すべし

### 三、現在活動中の主要匪首及其身元

滿洲に於ける中國共產黨と共產匪

本籍 出身別 性格 學歷經歷其他

家族の狀況

其他

匪首名 年齢

山東 不詳 不詳 不詳

中國内に家族あり

蘇聯共產黨に八年あり最近毒殺されたるやの説あり

楊靖宇 四二

商人

商業を営みありしが楊司令の勳に依り匪化す

不詳

四海山 三三

新聞記者

通化に於て新聞記者を爲し居たることありと云ふ

青島に妻二子供二あり

陳韓郷 不詳

不詳 不詳

昭和八年頃東北人民革命軍を編成し楊靖宇と共に民族革命を標榜するに至る

不詳

阿片中毒なるが如し

曹國安 三〇

河北 農夫

滿洲事變當時農業を営みありたるが共產主義に共鳴匪化す

〃

自衛軍 三八

山東 商人

事變當時本籍地に於て商業に従事其後匪化す

樺甸縣に妻子を有すと

周太平 三八

不詳

不詳

なし

丁某 三四

〃

〃

不詳

王某 四〇

公安隊員

事變當時金川縣公安隊に勤務其後匪化す

〃

阿片中毒者の如し 姚司令 三六

不詳

大同元年匪賊となる

なし

萬順 三六

奉天省遼陽縣 滿洲國軍人

事變後滿軍を志願し其後匪化す

本籍地に妻母子供二人あり

劉殿五 三五

山東 農夫

事變當時柳河縣に於て農業に従事中匪化す

不詳

阿片中毒者 岳定亭 五〇

不詳 短慮

不詳

なし

部内に内訌ありて圓満ならざるが如し 吳義成 四五

奉天省  
海龍縣

村長 不詳

馬夫農夫より本籍副村長  
村長を經事變後匪化す

本籍地に妻子  
ありと云ふも  
詳ならず

隋長青 五二

山東

木材商人 //

木材業に従事中民國十八  
年匪化す

なし

青山好 三六

朝鮮

不詳 //

不詳

不詳

程斌 二八

安東省  
輯安縣

軍人 //

事變前軍人事變後自衛軍  
に投じたるも遂に匪化す

//

李名 三〇

寬甸縣

農夫 //

本籍地に於て農業に従事  
中昭和五年匪化す

母妻子供三名  
あり

王洪喜 三五

朝鮮

// //

農業を營みありたるが共  
匪の宣傳に依り匪化す

不詳

金日成 三〇

#### 四、匪賊の素質

檢舉取調の結果より得たる諸統計左表の如し。

(其一)

原籍別統計表 自昭和一〇、一〇、一〇  
至//一、一、一〇

秋冬期討伐檢舉者

北原籍 紅軍 反日會